

働く男のライフスタイル情報紙

Biz Life Style [ビズスタ東京]

2017 03

特別版

『Biz Life Style』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都・滋賀、仙台、福岡、広島にて62万部発行
下記URLまでアクセスを。

www.biz-s.jp

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作/株式会社ティリススポーツ案内広告社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F
© 2017 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD



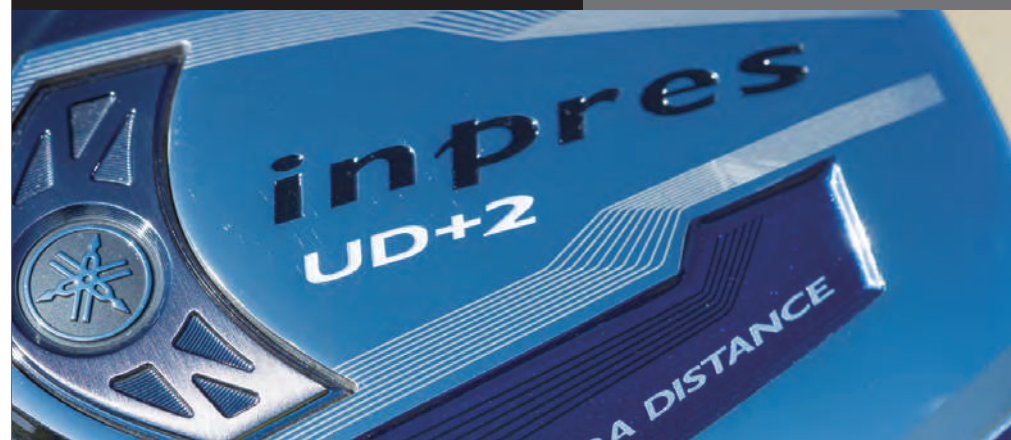
「+2番手の飛び」。 あの噂は本当なのか。

もともと興味はあったのだが、これほど夢中になるとは思わなかった。仕事仲間や友人への付き合いのつもりが、リワードデビュー時の「まぐれの二打」の弾道が忘れられず、気づけばスイングのポーズを取っている自分。それは、見渡す限り整備された自然が広がるコースの美景か。それとも、知力を尽くして最善の道を考える戦略性か。はたまた、ボールを的確に捕らえた時に掌に伝わる快感か。人を惹きつける「ゴルフの引力」の不思議は、何年語り合っても結論が出ないが、ひとつだけ万人が口を揃えるであろう要素がある。ひとつだけ言えば、「飛距離」だ。プロ、アマを問わず、ボールを「飛ばす」ことは全ゴルファーにとって最大の関心事であり、最大の愉しみと言えよう。憧れのプロのスイングを食い入るように見るのも、いそいそと「トライ・ヒンクレンジン」に通うのも、そして店頭に出かけては最新のドライバーを握ったため息をつくの、すべてが「イメージ通りにボールを飛ばす」ことに帰結する。満足のゆく数字が出たスコア表を後で眺める時間も捨て難いが、渾身のショットとその弾道を全身で味わう体感的な感動は、「あの一瞬」だけなのだ。

だからこそ、私たちはスイングに悩み、「理想の自分」が映る迷宮を彷徨い、拳句の果てにはスランプに陥ったりする。そして、「もう飛べない」と飛べなくなるクラブはないのか。

というわけで、ヤマハ「ゴルフの新作インプレス UD+2」が注目を浴びている。「手にするだけで、+2の飛び」というキャッチコピーは、果たして本当なのか。今回は、スベックではなく実地で検証してみたい。

My Favorite Life Style



池越えは、本当に驚きました。だって、真っ直ぐ行くと240ヤードですからね。今回は試打なのでチャレンジできましたが、ふだんはこんなことしませんよ(笑)。捕まえやすく、飛距離が出て、最短距離を狙えるなら、コース戦略だけではなくてラウンドの楽しさも確実に変わります。このクラブで練習を積んだ上でコースに出たら...と思うと、ブルッと来ますね。(佐原)



今回は事前練習をさせてもらえませんでした、編集部の総意として(笑)。ぶっつけ本番で実は緊張していたのですが、構えた時にドライバーの「顔」を見て少し安心しました。安定感のある、いいフェースをしているんです。打感ももちろんですが、打球音も美に気持ちよかったです。さすがは音響機器を手がけるメーカーですね。(佐原)



アイアンも、恐らく20ヤードは伸びていたと思います。190ヤードからの位置では、アイアンでは難しいけれどユーティリティでは精度が心配というシーン、多いですよね。そんな時にアイアンで飛距離を出せれば、精度と両得になるのですから、これは助かります。パー3でも1オンのチャンスが劇的に上がるわけですからね。(佐原)



「プラス2番手」は、本当に可能なのか?

噂の Yamaha NEW inpres UD+2 を本紙編集長がガチで試してみた

取材協力: 嵐城ゴルフ倶楽部



さほら まさゆき 佐原雅之 Biz Life Style 編集長
全国主要都市で発行するライフスタイル情報誌「Biz Life Style」編集長。趣味はゴルフで、「ゴルフは道具よりも腕と練習が大事でしょ」が持論の技術論者。クラブに依存しないストイックなアマチュアゴルファーを代表するつもりで、インプレス UD+2の試打に臨んだ。

クラブとの事前接触は禁止され、練習もできないまま240ヤードに挑む！
ぶっつけなら「無謀」となるのだが...

表紙の写真は、ヤマハの新作インプレス UD+2だ。カタログを開くと、いきなり「ぶっつけ」インプレスと大書されており期待感を煽られるが、こまごまではほかのクラブも同じこと。UD+2とは、プラス2番手の飛びという意味だが、飛距離なら現場で試すのが一番。というわけで、今回は実際にコースに出て、真偽を確かめることになった。

だが、ここでプロ級のドライバーを連れてきて、非力な私たちの参考にはならない。本紙編集長の佐原雅之は、会議でひとしきり力説した後、「こう言った。これは私が振ります。ゴルフ歴10年、ハンデキヤップ25年間ラウンド数10。この数字なら、読者も親近感を覚えてくれるはず...」と正論を繰り出し、被験者決定。当日は、役得に緩む口元を引き締め、休日そのままのフル装備で嵐城ゴルフ倶楽部(静岡県掛川市)に現れた。

事前練習ナシのガチな試打
まずは、状況の整理から。舞

いしと豪語する程らしいコメントだが、声は若干上ずっている。「ぶっつけ」クラブは、スーパーコンピュータで演算したという広い反発フェースが特徴だ。そこに高初速のロフト設計、ドライバーではソールとボディのウェイトが加わる。捕まえやすいのは確かだが、と返すつもも、いきなり会心のショットに「ヤける表情を正すのに必死」という趣意。しかし、クラブに厳しい目を向ける技術論者の顔を保てるのも、残念ながらここまでだった。

今回の現地試打は、続く2番ホールでもさう結論が出てしまった。左右にOBが待ち受ける右ドッグレッグ型のミドルホールで、ティグラウンド右前には池が口を開けている。しかも、池を狙うなら、検討の余地なく左に広がるフェアウェイへと迂回するのがセオリーとなる。だが、この日は「コア」を気にする必要がある。しかも飛距離そのものの実験。編集長なら当然池越えです。今度こそ「ヤリ」が「ニヤ」する番だ。

飛びを調べるには絶好の場面なのに、なぜか笑顔を引きつらせながらの「ティアップ」。しばらく左に目をやっていたが、やがて観念して構え、振り抜くと...何と「発で見事な池越え！」絵に描いたようなショートカット成功に誰もが驚き、笑顔で軌道を確認する。これを「ゴルフの醍醐味」という光景が広がる中、当然の本人も「つむより30ヤードは飛んだ、いや40か」と大興奮。「なんてこんなに簡単に飛んだ」と本音がはけ出し、勢い余って「池越えなんて狙った

こともなかった」と言わなくてよいことまで口走る始末だ。ここから先はもう検査員ではなく、すかりオーナーのような顔。ドライバーも、フェアウッドも、ユーティリティも、アイアンも、怒りもなげに握っていた。

試打後の佐原によれば、アイアンでも20ヤードほど伸びている感覚があったという、インプレス UD+2。これは、自分のゴルフがまったく違うものになるかも知れない、というのか、彼の率直な感想だ。「パーでの2オン、パー3ロングでの1オンも狙えるんじゃないかな。」

1打目で飛距離が出れば、2打目3打目は感覚も景色も変わる。それもまた、アイアンを選んでいた場面で、7番を握れるようになる。5回に1回、当たったのが、3回「ナイシット」を得られるなら、「ゴルフの悦び」を体感する機会が単純に増える。飛びクラブは、そのまま楽しいクラブとなるのだ。

「飛び」を謳うクラブは多いが、佐原の持論通り「リテア」自身の技術を前提とするものも少なくない。だが、まさか自分がこれまで飛ばせては思わなかったと放心気味に吹く編集長は、もうあの池越えの快感を忘れることはないだろう。そして、新たな次元への愉しみと「喜び」へと進むことになるはずだ。重心高、重心角、重心深度、数値のチカラは極めて重要だが、それ以上に試打が大切であることを実感した。今回のテスト「プラス2番手」に本紙をおいた佐原は、次は事前練習してからコースで握ると、楽しそうに語った。今後は、クラブ80台を視野に入れるのだ。

「狙う」そして「飛ばす」 —— 革命的アイアンから始まった inpres UD+2の「飛び」の技術。

今回の「ぶっ飛びインプレス」は、2014年に誕生した大ヒット商品「インプレス RMX UD+2」からの進化形となる。前ページで紹介した「クラス2番手」テクノロジーの先駆者で、アイアンに新たな視点と市場を創出した傑作として知られる。

「前代未聞のぶっ飛び」という謳い文句に佐原編集長が深く頷く「インプレス UD+2」シリーズは、この技術をさらにアップグレードし、なおかつフルライナップとして展開したものだ。オフセンターヒット時の飛距離ロスの最小化まで視野に入れて「SLEER」の限界に迫る反発性能を実現した独自のフェース設計、重心高重心角、重心深度を「飛ばし」に最適なポジションにアジャストされたスーパー重心設計、フェース下部で打つても飛距離を稼ぐ低重心から生まれた高初速ロフト設計。これら3要素を同時に実装することで、どんな場面でも「クラス2番手」を狙える仕上がりとなっている。

なお、佐原がコメントを寄せていた通り、ヤマハのクラブは「音の愉しみ」も特徴だ。常に耳に快音を響かせることができるよう、ボールを打った際の音の質まで追求されているのだ。打感、打音ともにヌケのよい、五感に訴えるゴルフクラブ。試打の際は、このあたりもご確認を。



inpres UD+2

ドライバー #1	80,000円(税別)
フェアウェイウッド #3	52,000円(税別)
フェアウェイウッド #5、#7、#9	各46,000円(税別)
ユーティリティ #U4、#U5、#U6	各38,000円(税別)
アイアン #7、#8、#9、PW(4本セット)	96,000円(税別)
アイアン #5、#6、AW、AS、SW	各24,000円(税別)

inpres

パター	22,000円(税別)
-----	-------------



商品に関するお問い合わせは

ヤマハゴルフ お客様ダイヤル

☎ 0120-808-562

受付時間/10:00~17:00(土・日・祝日を除く)

ヤマハゴルフ

検索



本社/静岡県浜松市中区中沢町10-1

ビズスタ特典

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で10名様に
**オリジナルアイアンカバーセットを
プレゼント**

受付期間/2017年3月24日(金)~4月2日(日) ※24時まで
応募方法/下記URLよりアンケートに必要事項をご入力ください。

https://www.biz-s.jp/tokyo-kanagawa/campaign_form/

※当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。※応募はお1人様1回限りとなります。※ご応募頂く際にご記入頂いた個人情報、アンケート内容は、商品の発送、編集部からの連絡、又は、ホームページ、広告物への掲載やマーケティング等の目的のために、個人を特定しない統計資料として使用させていただきます。※お客様の同意なしに第三者に開示提示することはありません。

